

サステナビリティボンドへの投資について

大阪商工信用金庫（理事長 多賀 隆一）では、令和5年7月12日（水）に「オリックス銀行株式会社第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付 サステナビリティボンド）以下、本社債）」に投資したことをお知らせいたします。

「サステナビリティボンド」は、国際資本市場協会（ICMA）が策定したサステナビリティボンド・ガイドラインにおいて、ICMAが策定したグリーンボンド原則及びソーシャルボンド原則の両方に共通する4つの規定（資金調達の用途、プロジェクトの評価と選定のプロセス、調達資金の管理、レポーティング）に適合している債券で、地球温暖化などの環境的課題や社会的課題の双方に取り組む事業に要する資金を調達するために発行される債券です。

本社債により調達した資金は、サステナビリティ適格ポートフォリオに充当されます。サステナビリティ適格ポートフォリオは、サステナビリティ適格クライテリアを満たす6つの事業区分への投融資で構成されています。

当金庫は、地域社会の発展に貢献する理念のもと、SDGs（持続可能な開発目標）の趣旨に賛同することを宣言しています。その取組み方針のひとつとして、ファイナンスを通じて環境課題解決の自律的好循環を支える役割を担いたいと考えています。

当サステナビリティボンドへの投資で、脱炭素社会の実現等につながることを期待し、投資いたしました。

今後もこうした取組みを通して、地域金融機関として社会的使命を果たしてまいります。

〈本債券の概要〉

銘柄	オリックス銀行株式会社第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付 サステナビリティボンド）
発行額	240億円
発行日	令和5年7月12日

* 本事業の詳しい内容につきましては、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ
大阪商工信用金庫 広報CSR室 TEL 06-6267-2865